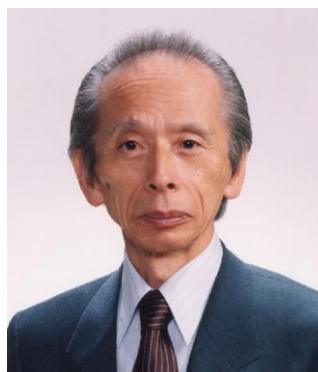


大樋副学長に文化勲章

たゆまぬ「創造」で工術家の頂点へ



金沢学院大学副学長で陶芸家の大樋左衛門教授「写真」が、今年度の文化勲章を受章しました。

大樋副学長は、本学教員として美術化学部生の指導に取り組んでいるほか、芸術院会員、文化功労者、日展顧問、現代工芸美術家協会理事長、財団法人石川県美術文化協会理事長など、数々の重責を担ってきました。

また、日展などの公募展を舞台に大樋焼10代目として大樋焼の伝統を守るだけでなく、たえず現代感覚あふれる

新しい陶芸の創造に努めてきました。今回の受章は、ここまでの輝かしい実績に加えて、果敢に挑戦を続ける創作姿勢が高く評価されたといえます。

11月3日、皇居で親授式が行われ、天皇陛下から文化勲章を授与されました。あわせて、北國新聞社から北國文化褒賞が贈呈されました。



『花三島花器』 大樋先生のこの作品は図書館2階に常設展示されております

7人が日展初入選

美術化学部学生

金沢学院大学美術化学部の学生7人「写真」が、第43回日展に初入選を果たしました。初入選したのは、日本画で篠塚美沙(3

年)、朝日美希(4年)、坂井未奈(4年)、辰田千春(専攻科)、洋画で中西真琴(3年)、陶芸で中川雄太(3年)、野口太一(4年

の皆さんでした。教員では、日本画で小木曾登、原千紗、洋画で児島新太郎、青木良識の皆さんが再入選しました。



中町教授に日展会員賞

今回の日展で、日本画の中町力教授が、ニューヨークの情景を白と黒の色彩で描いた作品「THE BRONX」で日展会員賞に輝きました。

山口さん 女流展最高賞

金沢学院大学美術化学部の山口理恵さん(3年)の日本画「はす」が、第26回北國女流美術展で最高賞の北國新聞社社長賞を得ました。

就活キャンパス

金沢学院大学4年生・金沢学院短期大学2年生を対象とした合同就職説明会が10月28日、5号館食堂2階で開催されました。参加した22の企業ブースの前には、リクルートスーツに身を包んだ学生が緊張した面持ちで企業の方の説明に聞き入っていました「写真」。

この日、流通や通信分野の企業に多くの学生が列を作っているのが目につきました。不況といわれる経済環境下でも、前向きに「動けば」まだまだ自分に合った仕事があるということを学んだようです。

